



平戸市議会だより

とかいせん



田平つばき物産展

毎年2月に、平戸市の花木「やぶ椿」を顕彰し、合わせて生け花・絵画・茶の湯などの地域文化、そして、特産品販売等による物産の振興を図ることを目的に「田平つばき物産展」が実施されています。今年で、33回目を迎えました。分野を超えて地域の各種団体が協力・連携して実施する地域の名物イベントです。

平成19年度 当初予算決まる!

第7号 平成19年6月1日発行 3月定例会報告

contents

3月定例会で審議された案件と結果	2~3
議会運営委員会からの報告	3
委員会活動報告!	
総務常任委員会	4
産業建設常任委員会	5
文教厚生常任委員会	6
決算特別委員会	7
西九州自動車道整備促進特別委員会	7
政務調査費 8会派活動報告!	8~9

市政を問う! 11名の議員が一般質問に登壇	
吉住威三美議員、浦 莊蔵議員	10
松瀬 清議員、綾香 良一議員	11
福田 洋議員、川上 茂次議員	12
近藤 芳人議員、森 能範議員	13
山田 能新議員、吉福 弘実議員	14
議員報酬5%カット!	15
暴力行為根絶!	15
トピックス!	16
シリーズ ふるさと宝さがし	
議会放映システムの予算通過・ひびき	

シリーズ ふるさと宝さがし 田平編



品種: 肥前薄曇(ひぜんうすぐも)

椿は身近に自生し、庭木や防風木として、また、盆栽切花用に、さらに、実は椿油に加工され、古くから私たちの暮らしにかかわりの深い花木です。

平成18年5月20日、新「平戸市」の花木として指定されました。山野でもよく見かけるやぶ椿ですが、その花は、自然交配によるとは信じがたいほど多様な姿を見せてくれます。
(取材: 鮎川 學委員)

町花として長い間親しまれてきた「やぶ椿」をご紹介します。

議会放映システムの予算通過

~インターネット配信の準備進む~

かねてより議会広報委員会で計画立案を進めてきた「議会放映」がついに実現します。

インターネットを介した「議会本会議の生放送」と「録画をいつでも見られる仕組み(=オンデマンド)」を設ける予算が先の3月議会で可決されたのです。現在、事務方で導入の準備が進められており、早ければ9月定例会から「試運転」という運びになりそうです。

市政には興味あるけどわざわざ議場に行っても傍聴できない...とおっしゃる方は多いでしょう。今まで以上に身近な議会になるための便利なシステムです。

皆さん、インターネットでお会いしましょう!

(記事: 近藤芳人委員)



生月病院待合所にて



実り多い年でありますように!

(松山定夫委員長)

たったたのおおききな、よか雨が降ったばあいなし、田はきやあたたなあ(耕す)
田植えの時期になると農家の人の朝夕のあいさつがこの一言である。
田植えが終わると、生月の風習で神棚に苗を供え、さのぼりの報告と豊作を祈る。我が家でも手を合わせ、今年も実りの多い年であるよう願った。
議会だより」とかいせんは第7号の発行となり今後においても、議会の情報公開を進めていくことが「開かれた議会」とつながり議会だよりは、そのための大切な手段です。議会での議論を市民に伝えることが市政や議会への親しみが増し関心が高まるような紙面作りを目指して努力を重ねてまいります。

ひびき

公金不適切処理で処分

（記事：八木原友子委員）
 1月15日から弁護士1名と税理士2名による外部調査を実施していた市側は3月13日に市議会に対し最終報告を行った。市側は、内部調査の結果は精確であり、私的流用の実実はなかったとしながらも、今回の不適切な公金処理について市政の最高責任者として市長自らの給与を4月と5月の2か月分を30%、副市長20%、収入役と教育長12%、区長をそれぞれ10%減額することとして、今定例会に条例改正を上程し（議案第44号）議会もこれを可決した。

なお、職員に対しては、職員懲罰委員会を開催し戒告18名、訓告38名、口頭注意31名の計87名を処分した。

また、再発防止策として物品管理の改正、意識改革のための吏員研修の実施、外部通報制度の確立、物品購入の一元化を検討している。さらに、国や県の補助金、委託金については返還も含めて県と協議中であり、業者に対する返還請求についても全額返還を前提として協議していると説明した。

不正経理問題に係る綱紀粛正と再発防止を求める決議

昨年11月に発覚した本市の不正経理問題について、市民の厳しい批判が高まっており、内部調査や外部調査委員会の審査においても「業者預け」が長年にわたり引き継がれてきた経過が判明している。このことは、市民の大切な税金である公金を取り扱う立場にある公務員としてあるまじき行為である。今回の不祥事が、市民の市政に対する信頼感の失墜を招いたことは明白であり、真に遺憾である。このような状況のもと、市長から今後このような事態が生じないよう努力するとの意思表示がなされているところではあるが、市民の疑念を払拭するまでには至っておらず、説明責任を果たすとともに再発防止策を講じ、一日も早い市政への信頼回復に努めるよう、下記の事項について強く要望する。

記

- 1 地方自治法、地方公務員法、条例等を遵守し、全体の奉仕者としての自覚を徹底すること。
- 2 再発防止のため、抜本的な制度を構築すること。

以上、決議する。

平成19年3月27日

長崎県平戸市議会

議会運営委員会からの報告

告発は議会の総意ではない！

去る3月13日付、公金の不適切処理に関し、浦議員及び市議数名による刑事告発の報道があった件につき、その真偽について議会運営委員会で協議を行った。告発については警察当局での受理もなく、数名の議員の賛同を得ているとの報道がされたが、告発は議会の総意でないことの確認と議会広報にその旨の掲載をすることを決定した。

また、浦議員に出席を要請し、議会運営委員会での陳謝はあったが、議会人として慎重な言動、行動をとるよう厳重注意を行うべきとの決定をした。従って3月30日議長室において議長名をもって正副議長同席の上、注意書を手渡した。

議会運営委員会

（文責：塚本雅英委員長）

平成19年3月平戸市議会定例会会期日程

月日	曜日	種別	内容	備考
3月5日	月	本会議	議案説明	
6日	火	休会	(議案研究)	
7日	水	本会議	一般質問	P10~P14 に掲載
8日	木	本会議	一般質問	
9日	金	本会議	一般質問	
12日	月	本会議	議案質疑	
13日	火	本会議	議案質疑	
14日	水	休会	(中学校卒業式)	
15日	木	委員会	付託案件審査(文教)	P4~P6 に掲載
16日	金	委員会	付託案件審査(文教、産建)	
19日	月	休会	(小学校卒業式)	
20日	火	委員会	付託案件審査(産建、総務)	
21日	水	休会	(春分の日)	
22日	木	委員会	付託案件審査(総務)	
23日	金	休会	(議事整理日)	
26日	月	休会	(議事整理日)	
27日	火	本会議	議案審議、閉会	

※総務…総務常任委員会 産建…産業建設常任委員会 文教…文教厚生常任委員会
 ※土日は省略

3月定例会で審議された案件と結果

報告番号	件名	結果	備考
1	平戸市の国民の保護に関する計画の作成に係る報告について	報告済	
議案番号	件名	結果	備考
171	平成17年度平戸市一般会計決算認定について	不認定	P7参照
1~3	平戸市職員定数、特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する、一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について	原案可決	
4	平戸市診療所医師の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の廃止について	〃	
5	平戸市職員旅費支給条例の一部改正について	〃	
6~8	平戸市一般職の職員の給与の特例に関する、名誉市民、災害派遣手当に関する条例の制定について	〃	
9~13	平戸市移動通信用鉄塔施設、手数料、税、保育所、ひとり親家庭等児童入学金支給条例の一部改正について	〃	
14	平戸市地域福祉計画策定委員会条例の制定について	〃	
15~18	平戸市敬老祝金支給、公共の宿たびらんど、予防接種健康被害調査委員会、市営交通船利用条例の一部改正について	〃	
19	平成18年度平戸市一般会計補正予算（第5号）	〃	
20~22	平成18年度平戸市国民健康保険、老人保健特別会計補正予算(第2号)、介護保険特別会計補正予算（第3号）	〃	
23・24	平成18年度平戸市水道、病院事業会計補正予算（第2号）	〃	
25	平成19年度平戸市一般会計予算	〃	
26~33	平成19年度平戸市給与管理、国民健康保険、老人保健、介護保険、簡易水道事業、農業集落排水事業、宅地開発事業、あづち大島いさりびの里事業特別会計予算	〃	
34~36	平成19年度平戸市水道、病院、交通船事業会計予算	〃	
37・38	平戸市辺地に係る総合整備計画、（変更）の策定について	〃	
39	物品購入契約の締結について	〃	
40	字の区域の変更について	〃	
41・42	松浦地区火葬場組合規約、北松北部環境組合規約の一部変更について	〃	
43	長崎県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増減及び規約の変更について	〃	
44	平戸市長、助役、収入役及び区長の給与及び旅費に関する条例及び平戸市教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	〃	P3参照
議案議番号	件名	結果	備考
1	平戸市議会議員の報酬の特例に関する条例の制定について	原案可決	P15参照
2	市長の専決処分にする軽易な事項指定の件の一部改正について	〃	
3	不正経理問題に係る綱紀粛正と再発防止を求める決議	〃	P3参照
4・5	平戸市議会会議規則、委員会条例の一部改正について	〃	
諮問番号	件名	結果	備考
1	人権擁護委員候補者の推薦に関する諮問について	支障なし	

総務常任委員会

委員会開催日 3月20日、22日

(文責…小川隆友委員長)

今回、本委員会に付託を受けた案件は議案19件で、審査の結果いずれも原案可決しました。

ここでは特に審議の中で出された主な意見・要望などをお知らせします。
【なお】「」の課名は所管課のこと)

企業誘致に免税を！

新市になって、企業誘致の促進を図る目的で、平戸市企業立地奨励条例により条件を満たすものについて5カ年度間固定資産税の課税免除を行うこととした。

この制度の周知徹底については、遺漏がないよう十分な対応を要請した。【**税務課**】

納税相談のため時間外窓口が設置されます

3月から毎月1回、最終日曜日に時間外窓口を設置し、

納税相談を行うこととなった。このような取り組みが、市民の納税に対する理解を深め、取納率の向上につながることを期待する。【**税務課**】

納税報奨金から事務費交付金へ

納税組合にかかる報奨金の廃止について、納税組合長や地区住民への説明を行い、理解を十分得られたのかという質疑に対して、「支所との調整を図ったうえで、説明をおこなった。合併協議でも調整事項となっていたが、税の公平性の観点から、旧4市町村の制度の平準化を図り納税組合に対する事務費交付金とすることで取りまとめを行った。」旨の答弁があった。【**税務課**】

高規格救急自動車が生月に新規配備されます

消防署生月出張所に高規格

救急自動車が新規配備されることとなり、また、本署のはしご付消防自動車が更新されることとなった。

この事業により市民の安心・安全の確保がさらに充実されるものと期待する。【**消防署**】

嘱託員制度統一について

嘱託員制度統一にかかる制度調整で、地区により嘱託員補佐制に差異があり、公務災害の適用等が均一でないため、その対応について質疑、意見があった。

担当課としては、「この嘱託員制度統一にかかることは合併協議会での積み残し分であり、速やかに調整する必要があることから、数回にわたり嘱託員代表者会議、各地区区長会への説明会を開催し、理解をもとめながら市としての提案を取りまとめられたものである。」との答弁があった。

本委員会としては、このような均衡がとれていない制度は再度検討する必要があるとのことから、理事者に対し対応を求めた結果、当面、平戸地区・田平地区においても公務災害

適用の公平を図るため、嘱託員補佐制度に準じる方策等を検討、実施する旨の回答を得、了承した。【**総務課**】

職員給与格差是正について

本委員会でも要請していた旧市町村間の職員給与格差是正について、新給料表4号(旧1号)を上限として、旧町村職員全員の給料の格差是正を行う旨報告があった。【**総務課**】

組織機構の見直しについて

支所税務班を廃止し、市民生活課で税務事務を所掌させる等組織の見直しを行い、総合支所を縮小する旨の説明があった。

支所の人員を減らすことは、行財政改革の観点からすれば必要であるが、合併協議の中でも確認されている「緩やかな合併」を考えると、急激な職員の削減は地域の活性化



納税相談のため時間外窓口が設置されている税務課

産業建設常任委員会

委員会開催日 3月16日、20日

(文責…高田 謙委員長)

今回、本委員会に付託を受けた案件は議案11件で、審査の結果、いずれも原案可決しました。

ここでは特に審査の中で出された主な意見・要望などをお知らせします。(なお「」の課名は所管課のこと)

公共の宿たびらんど利用料の減免規定の明文化を！

条文の中にある「特別の理由があると認められるとき」については抽象的で十分な理解がしにくいところであるので、今後濫用を避けるためにも速やかに明文化されるよう要望した。【**観光商工課**】

路線バス維持対策には地域の実態を十分把握し、円滑な事業推進を！

路線バス維持対策については、乗客の減少等により市の財政支出が増額となっており、19

環境保全のためにも各課相互の連携強化を！

豊かな海づくり事業として種苗放流事業が計画されているが、海の荒廃については森林保全とも密接に関連しているものと考えられるので、今後は農林課とも連携を図りながら環境保全に努めていただくよう要望した。【**水産課**】

各種資金の有効活用と新制度の創設を！

中小企業振興資金預託金2億円が計上されているが、利用状況は金利等の関係で借手が少ない実態にあるため、

観光予算の増額と基幹産業との有機的な結合策を！

今後は多くの関係者が利用できるような金融機関等とも十分な協議をされるとともに、産業活性化資金利子補給金が19年度をもって打ち切りとのことであるが、今後はこれに代わる何らかの制度を関係各課と連携を図りながらつくり上げていただくよう強く要望した。【**観光商工課**】

観光予算を見ると、補助金負担金等に終始し、本市観光の目玉としての独自の施策が見当たらない状況にあるので、今後予算の増額はもろろんのこと、新たに農林、水産、商工など、基幹産業も含めた総合的に関連的な振興策を図り、この冷え切った平戸観光の再生のために思い切った施策を講じていただくよう要望した。【**観光商工課**】

家賃滞納の解消を図るための法的導入経費を計上

住宅管理費において悪質滞納者に対する法的措置の導入

化を損ない、住民サービスの低下を招く等の恐れがある。業務的に支所に配置するところがなじむ業務については本庁から支所に移す等、人員減の激減緩和を図る対策を講じることにも必要であるとの強い意見が本委員会の大勢であり、そのことを踏まえ、各支所のありかたについて、十分な検討を要請した。【**政策調整課**】



第2フェリー大島

等により26回は薄香棧橋に寄航している実態にあるため、住民の皆さんは薄香から平戸までの交通の便で大変苦慮されているようであり、これらの対策についても今後十分検討され、なお一層の利便性の向上に努めていただくよう要望した。【**大島支所産業振興課**】

大島村住民の足の利便性の向上を！

19年度の年間運航回数は1千471回が計画されているが、18年度の実績として、悪天候

文教厚生常任委員会

委員会開催日 3月15日、16日

(文責：近藤芳人委員長)

3月定例会で本委員会に付託を受けた議案は15件で、審査の結果いずれも原案のとおり可決しました(3月27日)。

また閉会中の所管事務調査として、「オランダ商館復元後の活用について」及び「子どもを取り巻く環境について」を行ったので、併せて概要を掲載します(2月16日)。

学校軽トラック集中管理の円滑な移行を！

小中学校によつては軽トラックを所有しているが、20年度から集中管理になるため学校で使用できなくなるとの報告があった。

しかし没収後どうすればいいのか?例えば、軽トラックのない学校ではどのような運用を行っているのか明確な回答がなかったため、そのような代案のない方針決定はささんでありきわめて問題であるとの厳しい意見が多く出た。

図書館建設検討の情報開示とよりよい計画を！

平戸市図書館建設検討策定委員会において図書館の建設計画・読書推進計画などを検討しているとのこと。建設候補地としては、旧平戸の北部地区ということで検討しているとの報告があり、「平戸の材木を利用し、産業との連携をすべき」といった推進意見と「財政危機の今、新たに建てるのでなく田平支所の空きスペースも検討してみてもどうか」、「図書を検索システムを利用して、欲しい本を近くまで持つてきてもらうことが主流になつてきたご時勢に大きな建物を必要とするのか」といった慎重意見が出された。

つてきてもらうことが主流になつてきたご時勢に大きな建物を必要とするのか」といった慎重意見が出された。

【生涯学習課】

MR I導入による地域医療の充実を！

MR I装置が平戸市民病院に導入されるとの報告を受けた。脳血管疾患等の早期発見、早期治療が可能となる他、整形外科での使用頻度が高く、外来患者の増加が期待される。

【平戸市民病院】

医師確保に向けた尚一層の取り組みを！

へき地病院への医師確保は大変厳しい状況にあるが、平戸市民病院においては、2年間常勤医師不在となつていた整形外科に、本年4月から常勤医師が赴任することのこと。人工透析医の確保と併せ、関係者の努力に感謝する。

今後なお一層、関係機関との連携を密にし、必要な医師数の確保に向けての取り組みを要望した。

【平戸市民病院】

保育料の地域差が統一され、一部軽減化される！

旧市町村間の格差が大きかった保育料だが、急激な負担増がないよう調整するとともに、市独自に少子化対策として一般財源から1千万円投入し軽減措置を講じた新保育料を平成19年度より運用する旨の報告があった。

【福祉事務所】

オランダ商館活用のアイディア続々！

オランダ商館の有効活用についていろいろな意見が出された。

- ・観光客を誘致する前に住民に地元の文化、歴史を浸透させることにも力を入れるべき。
- ・当時の貿易で栄えたキーワードになるもの(例えば銀、ガラス細工等)を今様に継承させることを志向すべし。
- ・まち並み全体の統一性、作った商品の統一性が重要。
- ・食と観光を結び付けていくことが重要。
- ・近隣の商店街も利益が上がるような関わり方に期待したい。



オランダ商館復元予想図

などの意見があった。

【文化振興課】

組織横断による充実した子ども支援に期待！

子どもを取り巻く環境について関係各課一同に話し議論した。

近年、いじめ、虐待、養育放棄等が深刻な問題となる中、子どもから発せられる何らかの警鐘をいち早く察知し、縦割りではなく横の連携で共通認識を持ち、早急な対応ができる環境づくりをしていかなければならないとの認識を新たにした。

【関係各課】

なお当委員会は「教育行政について」閉会中の所管事務調査を行うこととした。

決算特別委員会

委員会開催日 9月29日、10月2日、4日、12月13日、18日、2月6日、13日

(文責：辻 賢治委員長)

平成17年度(下半期)一般会計決算を不認定

新市となった下半期での決算数値は収入済額146億5千493万7千933円、支出済額144億7千767万3千556円で収支差引残額1億7千726万4千377円となっているが、旧4市町村の上半期決算を加えた決算

額は、歳入総額242億7千174万5千円、歳出総額240億9千448万1千円で歳入歳出差引額1億7千726万4千円となり、翌年度に繰り越すべき財源は1億2千955万円の實質収支となっている。

本市の財政状況は、自主財源に乏しく国の財政計画に左右されやすい脆弱な財政構造

西九州自動車道整備促進特別委員会

委員会開催日 1月23日、24日、2月8日、9日

(文責：吉住威三美委員長)

1月23日、24日の2日間、地元選出国会議員をはじめ、国土交通省、財務省に対する要望活動を実施した。

23日は、地元国会議員等に対する要望活動を行うとともに、自民党前道路調査会長であった古賀誠代議士に対し、早期整備促進を強くお願いした。翌24日、国土交通省、財務省

に対する要望を実施し、特に遅れている松浦市、佐々町間の早期整備計画への格上げを渡辺国土交通副大臣、安富事務次官等に対し強くお願いするとともに、尾身財務大臣に、道路特定財源の確保について特段の配意を要請した。

次に、2月8日、9日の2日間、伊万里、松浦、平戸で組織する

三市協議会による国等に対する要望活動を実施した。

【生涯学習課】

8日は、佐賀、長崎県選出の国会議員に対し要望を行うとともに、国土交通省及び財務省に対する要望を実施し、地方の置かれている現状を十分に訴え、早期整備促進並びに道路特定財源の確保について強くお願いした。

翌9日は、松浦、平戸市合同で地元選出国会議員に対する要望活動を行った。なお、ルート未決定区間で

告書の説明を受けた。この報告書によると、職員による預けの私的流用の事実が認められなかった。しかしながら書き換え、預けの事実が公金を取り扱う立場にある者にとつてはあつてはならない行為であり、断じて許し難いものである。今後の問題として業者預けの返還、補助金等の返還、職員の意識改革、再発防止のための改善策等早急な対応が求められたところである。

【委員会】

委員会としては、外部調査委員会の報告を踏まえ、決算書の修正の意思があるのかと質したところ、修正する意思

はないとの答弁があり、現行の決算書では認定し難いとの判断に立ち、平成17年度一般会計決算を全会一致で不認定とした。

今回、発覚した公金の不適正な会計処理が長年にわたつて行われていたことは到底市民の理解は得られず、理事者に対し猛省を促すとともに、今後、一度とこのようなことがないよう職員意識の改革と早期に再発防止策等を提示され、透明性の高いガラス張りの行政を目指し、市民の負託にこたえられるよう最善の努力を強く要望した。

ある松浦市から佐々町間にかかる地元意見交換会が2月15日、平戸文化センターで開催され、本特別委員をはじめ、議員諸氏、市民多数の出席のもと、活発な意見交換会が行われ、大多数の意見としては、平戸インターチェンジの設置を強く主張され、ルートの見直し等の要望がなされた。また、議員各位からも本市の置かれている現状やその必要性を切実に訴え、早期の平戸寄りルートの決定並びに整備促進を強くお願い



尾身財務大臣に道路財源の確保を要望する委員

平成18年度 政務調査行政視察報告

政務調査費とは市政に関する調査研究に資するため必要な経費(年間12万円)を各会派の所属議員数に応じて交付されるものです。

【志士乃会・新志会・新風会・宝生会】

平成18年8月2日 山垣畜産本店、8月3日 篠山市役所、8月4日 大阪北部中央青果市場に農業及び観光の振興について(本市の重要産業であり今後の展開のため)視察を4会派合同(志士乃会・新志会・新風会・宝生会)で行った。

山垣畜産本店

神戸市を中心に黒毛和牛を肥育から牛肉販売、牛肉専門レストランなど牛肉一貫経営を行っている。平戸口家畜市場の主要な顧客であり年間240頭余りの仔牛の購買をいただいている。

8月2日 神戸市北区八多町の山垣畜産本店を訪問した。山垣政晴社長と面会后、フルーツフラワーテーマパーク神戸の一角で肥育が行われている牛舎で視察研修を行った。1千200頭を飼育して、年



山垣畜産牛舎の様

間6百頭の肥育牛を仕上げ全て自社売店及びレストランで販売しておられる。長崎産の仔牛については好評で牛若丸、川幸など但馬系の雌仔牛を主体に購買をいただいている。平戸口家畜市場への注文として高速道路からのアクセス道の整備と市場上場の頭数減が気がかりであるため増頭を願っておられた。

8月3日 篠山市役所を訪問し、①歴史ある城下町を生かした観光振興について②丹波ささやま黒大豆のブランド化とその生産・流通体制等について研修を行った。

歴史ある城下町を生かした観光振興について

観光客年間313万人のうち宿泊客は4%である。篠山大書院の復元や四季の味覚体験、地域の特産、年間のイベント開催、伝統産業、史跡など観光資源の活用と篠山城築城400年を平成21年に迎える事にちなみ内堀復元整備や城下町の街並み保全等と併せて新たな事業展開を検討していく。『住んで良いまち』が『訪れて良いまち』で、それが観光づくりの基本だといわれます。観光は街づくりの総仕上げなのです。』と結ばれた。

丹波ささやま黒大豆のブランド化とその生産・流通体制等について

丹波篠山の特産物振興と題して森口丹波ささやま黒まめ課長の説明を受けた。総農家戸数は4千567戸で約8割が兼業農家である。一戸当たりの経営面積は97.6アールである。中核的農家は全農家の3%程度に過ぎない為、地域の特性をいかし、24戸(個人16戸、法人8戸)の認定農家を含めた

大阪北部中央青果市場

この市場には、平戸・松浦生

【広和会】

平成18年11月6日から9日まで岡山県総社市(合併に伴う行財政改革の取り組み)、鳥取県倉吉市(伝統のまち並みづくり)、島根県大田市(農林行政、特にイノシシによる農作物被害)、平成19年1月29日、30日までは、鹿児島市の国民宿舎レインボー桧島に「含鉄泉」(泉源)の温泉としての利用状況について3会派合同で視察を行った。(紙面の都合上一部掲載しております。)

島根県大田市ではイノシシによる農作物被害について研修した。

本市では、他地区のように作物の転作や耕作地の転用が簡単ではなく深刻な問題である。現状を踏まえ、この対策を推すべきであると感じた。

次に、鹿児島市の国民宿舎レインボー桧島に「含鉄泉」(泉源)の温泉としての利用状況について研修した。視察の目的は、第1に「含鉄泉」を泉源として営業中の温泉視察の利用状況を調査し、「公共の宿プチホテルたびらんど敷地内に探掘ボーリングして得られた強度の「含鉄泉」が温泉施設とし

て利用できるのか、その可能性等を探ること、第2に国民宿舎・公共の宿等の「指定管理者制度運用状況・実情等について調査した。

含鉄泉としてのリスク・問題点等について苦労があり、努力が必要であることも、改めて認識した。また、苦勞しながらもリスク回避を懸命な努力によって達成しているように見受けられた。

【立志会】

平成19年2月20日から22日まで岩手県葛巻町、田沢湖町、雄和町へミルクとワインとクリンエネルギーの理想郷、株式会社 葛巻町の挑戦の視察を行った。

葛巻町のまちづくりを体験して、野太く、したたかに、たくましくも能動的に大地にしっかりと根を張ったまちづくりこそが本物のまちづくりであり、産業というものではないかと、まちづくりの我々の理念が大きくぶれたのは間違いないではない。

モノを生み出すこと、産業の言葉通りに業を産出す営みがまちづくりの基本中の基本

であろう。消費的な人待ちの産業はやはり、経済の推移や流行に弱い。

やはり、攻めの産業を興すことが本物のまちづくりではないかと痛感した。これは、大分県大山町の梅栗植えてハワイに行こうのまちづくりに通ずるものだ。余りにも広大すぎた葛巻町のまちづくりの挑戦であった。まちづくりの志の高さと職員の意識と職見の高さに感銘し感動した。

【新平戸21・ヒューマン21】

平成18年7月24日、27日まで根室市役所、南幌町役場に①水産加工及び農業振興(ピュアホワイト)の調査について②観光交流事業(本土最西端の駅「たびら平戸口駅」と最東端の駅「東根室駅」との交流)について調査を行った。

根室市

根室市は日本最東端に位置し、人口約3万2千人の市でまさに北方領土の最前線の地であった。産業は水産業、酪農が主産業である。

水産物の漁獲高は年間約220億で魚種はタラ、ウニ、ホタテ(1月、2月)サケ、マス、

大規模農家や安定した第二種兼業農家、集落を単位とした集落営農組織、さらに農協が実施しているオペレーターによる作業受託組織、第三セクターによる総合的な担い手の確保により農業生産の維持拡大策を行っている。

第三セクターとは農業者の高齢化等により将来農地の保全ができず遊休農地が増加する見通しから行政と農協が出資して設立した有限会社グリーンファームささやまのことである。

兵庫県多紀郡で栽培されていた黒大豆の在来種を兵庫県農事試験場が選抜して1941年に「丹波黒」と命名し奨励品種とした。百粒重で約80gと大粒であり、球形、黒色を呈し種皮にろう粉を生じている。旨み、食品の芳香感、もちもち感が絶妙といわれる。

食として身体に与える作用としては血圧降下作用、コレステロールの排泄を促す中性脂肪の血中濃度を下げる効果があるといわれている。

コンブ(5月、6月)サンマ(7月、8月)は、日本一の漁獲量(25%、28%)で1日1千tの水揚げ、秋サケ(イクラ)、花咲ガニ、イカ、カレイ(9月、12月)と非常に豊富である。特筆すべきは、水産加工品の年間売上高が平成16年で260億にものぼる事である。加工業者も21社以上あり根室発「美味カタログ」として統一カタログを作成して、販売促進を行っている。市においては、水産経済部の中に「水産研究所」「水産加工振興センター」を設置して水産業の振興を図っている。

酪農は非常に厳しい自然環境(年間平均気温6、7℃)や価格低迷の中、110軒の農家が経営している。全国的な傾向であるが、後継者不足が問題点である。観光事業は、太平洋とオホーツク海に囲まれた自然あふれる半島で納沙布岬を中心に年間、平成17年度で50万人前後の観光客が訪れている。そのうち、宿泊が17.4%、日帰り客が82%で約8割が通過型の観光になっている。

南幌町

今回の南幌町行政視察の目

産のイチゴとアスパラガスを出荷しており、市場の激励と取り扱いのお礼の意を表すとともに市場の流通及び取引引きについて視察研修を行った。今年5、6月の日照不足や雨に依り野菜が異常高値で取引され、例年にない状況が続いているとの話があった。アスパラガスも例年より入荷が減少しており、高値取引が続いている。イチゴは果実部門の販売高一位で売上高の15%を占めているが、その中で長崎イチゴが35%を占めている。品質についても良好で増産をお願いしたい。特に、イチゴのベンチ栽培を導入して増収、長期収穫が実現できるように行政、議会の後押しを期待すると要請を受けた。また、アスパラガスについても好評で増産をお願いするということであり、生産地の議会議員の訪問は大変少ないということで大歓迎をいただいた。

今回の視察研修によって多くの皆様に御教示を承り、本市の農業振興や特産品の開発、観光振興や町づくり等々に微力ながら尽力していく。

北海道南幌町は札幌市の東約30kmに位置する人口9千5百人の町で、丘陵地はなく全町平坦地であり町域は直線で東西12km、南北14km、総面積81.49kmである。気候は溫和であるが、風は四季を通じてやや強い。

南幌町では、経営規模の大きい地域は地域なりに問題も多く今後の農業での生き残りをかけて法人化を進めると共に、新しい作物の導入には積極的に行うなど、行政、農協、農家が一体となって地域農業への強い意欲を感じた。

南幌町での農業法人化の現況を見て環境、規模は別としても本市の中山間地域に合った農業法人化の促進を早急に図って行かなければならぬと感じた。



南幌町の農産物である白いとうきび「ピュアホワイト」

財政・行革について



吉住威三美議員

今や、市町村では地域経済が低迷し、少子高齢化等々の問題を抱え、国においては交付税算定方式の簡素化を図る新型交付税を今年度から導入され、前向きに取

り進む地方自治体に対し、頑張る地方応援プログラム、さらに公債負担の軽減対策は、利率5%以上の地方債政府資金を19年から3カ年繰り上げ償還を実施とあるが本市の取り組みはいかに。

【市長】平成19年度当初予算編成は、新しいまちづくり計画の実現、事業の取捨選択、財政体質の改善と健全財政の堅持を推進し、本年を「財政再建元年」と位置づ

け財政健全化計画に基づく歳出総額抑制を図るため枠配分方式の試行導入を行い、頑張る地方応援プログラムの事業、地方債負担軽減措置、合併特例債資金活用の弾力化など積極的に取り組んでいく。財政健全化計画は、行革実施計画、定員適正化計画と整合性を持つ計画で、平成21年度までに財源不足額14億円の解消を目標にしている。

【財政課理事】枠配分方式による削減は7%以上達成し、繰上げ償還等は8

億2千万円程度を計上し、3年間で繰り上げ償還あるいは低利債への借り換えを行う。

【企画課理事】長崎市で開催された総務省主催の頑張る地方応援の懇談に市長が出席し、本市の厳しい財政状況を説明、和蘭商館の復元まち並み景観整備など、地域活性化を図る事業支援をお願

いした。

【市長】書類をつくったことについては公文書偽造に該当すると推測する。

【市長】書類をつくったことについては公文書偽造に該当すると推測する。

公金の不法支出について



浦 莊藏議員

公金の不法支出の方法について、業者に架空の請求書を持参させ嘘の請求書で支出命令書(公文書)を作成し、これを会計課に提出、誤った審査をさせて業者口座に5年間で3千2百万を振込ん

だ、間違いないか。

【総務課理事】おっしゃったとおりです。

【市長】公金口座には業者に振込む十分な金はあつたのか。

【会計課長】年度末は赤字であるから一時借入して支払ったものと思う。議会を通さずに使える金は幾らあるのか。

【助役】議会を通さずに使える金は一切ない。

【市長】17年度の決算は本議会において不認定にした。

【市長】あつてはならぬこと謙虚に受けとめている。

【市長】幾ら本当に損害出たのかわからない。地方自治法210条はどうなっているのか。

【総務課理事】一般会計年度における一切の収入支出はこれを歳入歳出予算に編入しなければならぬ。

【市長】幾ら本当に損害出たのかわからない。地方自治法210条はどうなっているのか。

【総務課理事】公務員がその職務に関して虚偽の文書を作成(虚偽公文書作成)同文書を行使(偽造公文書行使等)した者は一年以上十年以下の刑に処する。

【市長】幾ら本当に損害出たのかわからない。地方自治法210条はどうなっているのか。

【総務課理事】公務員がその職務を行なうことにより犯罪があると思料するときは告発しなければならぬ。

水道行政について



松瀬 清議員

本市における水道供給体制の現状と旧市時から実施中の阿奈田ダム及び中南部水道統合整備事業の進捗状況について

【市長】本市における水道施設は、上水道平戸市2つ生月町1でまた、簡易水道は平戸7、生月1、田平3、大島1で合わせて3つの上水道と12の簡易水道で供給している。現在、本市では平成15年から22年度までの予定で、中南部水道統合整備事業を実施しており、水源開発、水道施設の統合整備、機能的維持管理と効率的な運営を図るため、総事業費45億6千6百万円で当該事業を推進中である。また、田平町においても15年

度から19年度までの予定で田平地区簡易水道改修事業を実施中であり、老朽化した施設を改修し、経営健全化を進め、2地区の事業が完成しますと簡易水道も7つに再編される。阿奈田ダムの完成により宝亀地区から宮の浦地区まで管路がつながり、供給体制が確立される。

【市長】現在の水道料の度から19年度までの予定で田平地区簡易水道改修事業を実施中であり、老朽化した施設を改修し、経営健全化を進め、2地区の事業が完成しますと簡易水道も7つに再編される。阿奈田ダムの完成により宝亀地区から宮の浦地区まで管路がつながり、供給体制が確立される。

鄭成功記念館建設について



綾香 良一議員

鄭成功記念館は、中国・台湾からの観光客受入れ施設として必要不可欠な観光施設であると考えますが、候補地の選定など進捗状況はどうなっているのか。

【市長】本市も積極的に海外からの観光客誘客を図るべきであり、鄭成功記念館建設の必要性は認識している。オランダ商館の完成後に組みたいと考えているが、候補地については観光協会及び地元が共通認識を持って選定していただきたい。

【市長】本市も積極的に海外からの観光客誘客を図るべきであり、鄭成功記念館建設の必要性は認識している。オランダ商館の完成後に組みたいと考えているが、候補地については観光協会及び地元が共通認識を持って選定していただきたい。

【市長】本市も積極的に海外からの観光客誘客を図るべきであり、鄭成功記念館建設の必要性は認識している。オランダ商館の完成後に組みたいと考えているが、候補地については観光協会及び地元が共通認識を持って選定していただきたい。

【市長】本市も積極的に海外からの観光客誘客を図るべきであり、鄭成功記念館建設の必要性は認識している。オランダ商館の完成後に組みたいと考えているが、候補地については観光協会及び地元が共通認識を持って選定していただきたい。

【市長】本市も積極的に海外からの観光客誘客を図るべきであり、鄭成功記念館建設の必要性は認識している。オランダ商館の完成後に組みたいと考えているが、候補地については観光協会及び地元が共通認識を持って選定していただきたい。

【市長】本市も積極的に海外からの観光客誘客を図るべきであり、鄭成功記念館建設の必要性は認識している。オランダ商館の完成後に組みたいと考えているが、候補地については観光協会及び地元が共通認識を持って選定していただきたい。

【市長】本市も積極的に海外からの観光客誘客を図るべきであり、鄭成功記念館建設の必要性は認識している。オランダ商館の完成後に組みたいと考えているが、候補地については観光協会及び地元が共通認識を持って選定していただきたい。

【市長】本市も積極的に海外からの観光客誘客を図るべきであり、鄭成功記念館建設の必要性は認識している。オランダ商館の完成後に組みたいと考えているが、候補地については観光協会及び地元が共通認識を持って選定していただきたい。

【市長】本市も積極的に海外からの観光客誘客を図るべきであり、鄭成功記念館建設の必要性は認識している。オランダ商館の完成後に組みたいと考えているが、候補地については観光協会及び地元が共通認識を持って選定していただきたい。

【市長】本市も積極的に海外からの観光客誘客を図るべきであり、鄭成功記念館建設の必要性は認識している。オランダ商館の完成後に組みたいと考えているが、候補地については観光協会及び地元が共通認識を持って選定していただきたい。

【市長】本市も積極的に海外からの観光客誘客を図るべきであり、鄭成功記念館建設の必要性は認識している。オランダ商館の完成後に組みたいと考えているが、候補地については観光協会及び地元が共通認識を持って選定していただきたい。

【市長】本市も積極的に海外からの観光客誘客を図るべきであり、鄭成功記念館建設の必要性は認識している。オランダ商館の完成後に組みたいと考えているが、候補地については観光協会及び地元が共通認識を持って選定していただきたい。

【市長】本市も積極的に海外からの観光客誘客を図るべきであり、鄭成功記念館建設の必要性は認識している。オランダ商館の完成後に組みたいと考えているが、候補地については観光協会及び地元が共通認識を持って選定していただきたい。

【市長】本市も積極的に海外からの観光客誘客を図るべきであり、鄭成功記念館建設の必要性は認識している。オランダ商館の完成後に組みたいと考えているが、候補地については観光協会及び地元が共通認識を持って選定していただきたい。

【市長】本市も積極的に海外からの観光客誘客を図るべきであり、鄭成功記念館建設の必要性は認識している。オランダ商館の完成後に組みたいと考えているが、候補地については観光協会及び地元が共通認識を持って選定していただきたい。

【市長】本市も積極的に海外からの観光客誘客を図るべきであり、鄭成功記念館建設の必要性は認識している。オランダ商館の完成後に組みたいと考えているが、候補地については観光協会及び地元が共通認識を持って選定していただきたい。

【市長】本市も積極的に海外からの観光客誘客を図るべきであり、鄭成功記念館建設の必要性は認識している。オランダ商館の完成後に組みたいと考えているが、候補地については観光協会及び地元が共通認識を持って選定していただきたい。

【市長】本市も積極的に海外からの観光客誘客を図るべきであり、鄭成功記念館建設の必要性は認識している。オランダ商館の完成後に組みたいと考えているが、候補地については観光協会及び地元が共通認識を持って選定していただきたい。

【市長】本市も積極的に海外からの観光客誘客を図るべきであり、鄭成功記念館建設の必要性は認識している。オランダ商館の完成後に組みたいと考えているが、候補地については観光協会及び地元が共通認識を持って選定していただきたい。

【市長】本市も積極的に海外からの観光客誘客を図るべきであり、鄭成功記念館建設の必要性は認識している。オランダ商館の完成後に組みたいと考えているが、候補地については観光協会及び地元が共通認識を持って選定していただきたい。

【市長】本市も積極的に海外からの観光客誘客を図るべきであり、鄭成功記念館建設の必要性は認識している。オランダ商館の完成後に組みたいと考えているが、候補地については観光協会及び地元が共通認識を持って選定していただきたい。

【市長】本市も積極的に海外からの観光客誘客を図るべきであり、鄭成功記念館建設の必要性は認識している。オランダ商館の完成後に組みたいと考えているが、候補地については観光協会及び地元が共通認識を持って選定していただきたい。

【市長】本市も積極的に海外からの観光客誘客を図るべきであり、鄭成功記念館建設の必要性は認識している。オランダ商館の完成後に組みたいと考えているが、候補地については観光協会及び地元が共通認識を持って選定していただきたい。

【市長】本市も積極的に海外からの観光客誘客を図るべきであり、鄭成功記念館建設の必要性は認識している。オランダ商館の完成後に組みたいと考えているが、候補地については観光協会及び地元が共通認識を持って選定していただきたい。

【市長】本市も積極的に海外からの観光客誘客を図るべきであり、鄭成功記念館建設の必要性は認識している。オランダ商館の完成後に組みたいと考えているが、候補地については観光協会及び地元が共通認識を持って選定していただきたい。

【市長】本市も積極的に海外からの観光客誘客を図るべきであり、鄭成功記念館建設の必要性は認識している。オランダ商館の完成後に組みたいと考えているが、候補地については観光協会及び地元が共通認識を持って選定していただきたい。

【市長】本市も積極的に海外からの観光客誘客を図るべきであり、鄭成功記念館建設の必要性は認識している。オランダ商館の完成後に組みたいと考えているが、候補地については観光協会及び地元が共通認識を持って選定していただきたい。

【市長】本市も積極的に海外からの観光客誘客を図るべきであり、鄭成功記念館建設の必要性は認識している。オランダ商館の完成後に組みたいと考えているが、候補地については観光協会及び地元が共通認識を持って選定していただきたい。

【市長】本市も積極的に海外からの観光客誘客を図るべきであり、鄭成功記念館建設の必要性は認識している。オランダ商館の完成後に組みたいと考えているが、候補地については観光協会及び地元が共通認識を持って選定していただきたい。

【市長】本市も積極的に海外からの観光客誘客を図るべきであり、鄭成功記念館建設の必要性は認識している。オランダ商館の完成後に組みたいと考えているが、候補地については観光協会及び地元が共通認識を持って選定していただきたい。

【市長】本市も積極的に海外からの観光客誘客を図るべきであり、鄭成功記念館建設の必要性は認識している。オランダ商館の完成後に組みたいと考えているが、候補地については観光協会及び地元が共通認識を持って選定していただきたい。

【市長】本市も積極的に海外からの観光客誘客を図るべきであり、鄭成功記念館建設の必要性は認識している。オランダ商館の完成後に組みたいと考えているが、候補地については観光協会及び地元が共通認識を持って選定していただきたい。

【市長】本市も積極的に海外からの観光客誘客を図るべきであり、鄭成功記念館建設の必要性は認識している。オランダ商館の完成後に組みたいと考えているが、候補地については観光協会及び地元が共通認識を持って選定していただきたい。

【市長】本市も積極的に海外からの観光客誘客を図るべきであり、鄭成功記念館建設の必要性は認識している。オランダ商館の完成後に組みたいと考えているが、候補地については観光協会及び地元が共通認識を持って選定していただきたい。

【市長】本市も積極的に海外からの観光客誘客を図るべきであり、鄭成功記念館建設の必要性は認識している。オランダ商館の完成後に組みたいと考えているが、候補地については観光協会及び地元が共通認識を持って選定していただきたい。



東中山工業団地

【市長】現在の水道料の度から19年度までの予定で田平地区簡易水道改修事業を実施中であり、老朽化した施設を改修し、経営健全化を進め、2地区の事業が完成しますと簡易水道も7つに再編される。阿奈田ダムの完成により宝亀地区から宮の浦地区まで管路がつながり、供給体制が確立される。

【市長】本市も積極的に海外からの観光客誘客を図るべきであり、鄭成功記念館建設の必要性は認識している。オランダ商館の完成後に組みたいと考えているが、候補地については観光協会及び地元が共通認識を持って選定していただきたい。



東中山工業団地



平戸観光物産展 (福岡市西区ダイエーショップズマリナタウン)

また、平戸へお客様を呼び込むには福岡と佐世保をターゲットに捉え、「本当においしいもの」と「本当に楽しいこと」を揃えれば人を呼べるという自信を深めることにつながった。

市民病院の財務体質改善策について 大島航路の収益と利便性確保について



福田 洋議員

問 市民病院は、公営企業として存続させるのか。
答 市長 平戸市民病院では、平成15年以降純損失を出しており、給食業務の民間委託、内部管理経費の削減を

図りたい。19年度中に「市立病院あり方検討委員会」を設け、経営形態の検討、平戸、生月の機能分担、経営健全化について答申を受け、21年度には、新しい経営手法へ移行し、安定させたい。
問 医師の確保について、いかに取り組んでいるか。
答 市長 平戸市民病院では、19年度から整形外科医を迎え充足しているが、生月

病院では法定数に3名不足し、経営・サービス両面に悪影響が懸念される。医師確保は本市にとって緊急かつ最重要課題と認識し関係機関に強く要望する。
問 MRIの導入による後年度負担はどうか。
答 市長 採算性はランニングコストで減価償却費を除き3千万円、診療収入4千万円、患者数を月に150件見込み、市民の強い要望もありサービス向上が期待される。

答 市民病院事務長 MRI導入事業は全体の37%5千万円が病院の持ち出しで、耐用年数6年、年間1千万円の償還。神経内科医も派遣され、受診件数も150を見込み十分やっつけける。
問 大島航路における経営効率と利便性の確保は。
答 市長 大島地区住民にとって最も良い方法を民営化検討委員会から答申されると思う。その後、行革推進のために設置する民営化検討委員会最終決定したい。基



経営健全化に向けて取り組んでいる平戸市民病院

本的には、大島航路についての検討委と考えており、区長にも指示しているが、民間事業者の意見を検討委の中で参考にすれば前向きな方向が見出せると思う。

景観条例について 教会群世界遺産登録への取り組みについて 有機農業推進法制定後の取り組みについて



川上 茂次議員

問 良好な景観は継承する責務があり市民協働で地域特性を生かし現行風致保存条例では旧町村部に効力なく、平戸全域の景観等の保全形成

と風致にも効力ある景観条例の制定を図れ。
答 市長・観光商工課長・文化振興課長 魅力ある景観形成のために平戸城下旧町部の美しいまちづくり事業を推進していく中で景観条例制定する。制定の間は景観緑三法の理念も取り入れ新風致保存条例を制定する。平戸港からの景観全域の『重要文

化的景観』指定を検討し、城下旧町部以外も地域に応じた景観と風景と風致の形成と保存のため市民啓発に努める。
問 歴史を生かしたまちづくりのコンセプトはオランダ商館を核に地域活性化であり、その活用の徹底を図り、教会群世界遺産登録への取り組みを示せ。
答 市長・観光商工課長・文化振興課長 まち並み環境整備事業の狙いは生業おこしであり、平戸銀線細工の復活やガラス・織物工芸品

製作指導など、オランダ商館活用委検討委員会に加えて、関係機関の連絡会を新たに組織して効果的な活用方法を研究する。町並みづくりはオランダ商館の復元を元に、大正昭和初期の残存建造物群を中心に進めたい。教会群とキリスト教関連遺産の世界遺産登録に関しては、田平・宝亀教会やキリスト教布教に大きな役割を果たした生月、根獅子など十分検討して市勢活性化に貢献する方向を模索したい。



問 土本来の力を生かし化有機農業推進法の取り組みについて
答 市長・農林課長 有機農業推進法の基本方針や推進計画、支援措置等に沿い関係機関と十分協議検討し21世紀農政ビジョンは本年度策定、環境保全型農業ガイドライン策定と展示も実施する。

平戸オランダ商館の活用について 高速大容量通信網の整備充実について



近藤 芳人議員

問 オランダ商館復元事業は平戸ならではの歴史や文化に即した事業であり、同時に観光の目玉としても期待される一方で事業化への不安の声もある。そこで、運営のあり方と収支について問う。

答 市長 学芸・教育活動、公的サービスの比重が重い当面は直営で運営する。
答 文化振興課長 収入は、年間入館者9万6千人、入場料金300円として入館料収入が2千880万円。事業収入を約2百万円見込み、合計で3千万円強。
支出は、3人分の人件費、光熱水費等の管理費に2千万円弱。事業費が1千万円強。合計で収入とほぼ同額と試算。

問 平成17年度実績で平戸城、松浦史料博物館ともに入館者は約7万7千人。9万6千人突破は厳しいのでは。
答 文化振興課長 非常に努力が必要であろう。集客のための知恵を絞り再度シビアに計算する。
問 スタッフ3人では足りないのでは。
答 文化振興課長 受付と展示説明等に関わる3人の他に学芸員2名、事務員1名、国際交流員1名と館長を配置する予定。

問 つまり数千円単位の人費が一般会計に紛れ込み、実質はその分の赤字である。高速通信網の普及は顕著。しかし本市は光ファイバーが未整備。川内、度島はADSLさえ未整備。そこで
①平戸に光ファイバーを引くには何件の需要見込みがなければいいか？
②川内局、度島局はADSL化が急務。役所が中心となり利用希望者を募るべき。
③田平地区には優先的に光ファイバーを引くべき。企業誘致に不可欠であるし、西九州

自動車道整備と併せ、全国和牛共進会(平成24年誘致に向け、参加者30万人の移動と通信の基盤となる。
答 企画課理事 ①地理的問題があると聞くが具体的数値を聞き出すに至ってない。
長崎県プロードバンド整備促進会議の中で訴え、②早急に実現できるよう努力する。③平成22年度までに実現するよう協議を進める。
答 市長 全体的に利用希望者数と事業者の考え方も含めて前向きに検討したい。

協働のまちづくりを行うための取り組みについて 市民病院の経営状況と医師確保について 公的機関の誘致について



森 能範議員

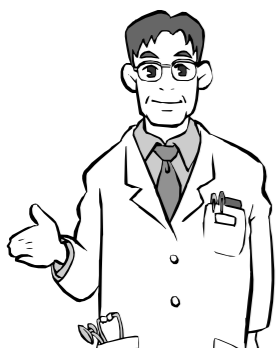
問 市民主体のまちづくりを基本に、市民と行政の信頼関係が重要であるがどう取り組んでいくのか。

答 市長 協働を推進するためには、市民の皆さんやNPO、民間団体、職員が、協働とは何か、なぜ必要なのか、協働に対する理解と意識の高揚を図りながら「協働のまちづくりの指針」を策定して協働実現のために努めたい。
答 田平支所長 行政におんぶにだっこの部分を、市民もやれるところはやろうと、

目覚め、その中に、行政マンも入って、お互い心が一つになった時に協働が生まれる。それが市の利益につながる。
問 安心して住める市の第一条件は医療体制の整備である。
医師確保のため、各市の市長は、厚生労働省の医政局に、陳情に来ているという。是非、市長も行ってほしい。
答 市民病院事務長 市民病院は、4億6千万円の不良債務があり、生月病院は安定していたが、年々患者

が減少している。今後、経営改善と効率化を図る。医師確保については、インターネットや各大学医局を通して全国に募集を働きかけている。
答 市長 窓口は長大なので、直接厚生労働省まで行ったことはない。
問 公的機関(自衛隊等)の誘致について市長は義務と権利をもっている。本市の方向性を決める権利。365日市民のために働く義務がある。

答 市長 自衛隊の誘致は、密航事件の発生にも、抑制が期待できる。また、私も県北地域の防衛会長として、今回防衛省となり、組織の変更が検討される。今後、分散体制ができるか働きかけた。
答 市長 密航事件の発生にも、抑制が期待できる。また、私も県北地域の防衛会長として、今回防衛省となり、組織の変更が検討される。今後、分散体制ができるか働きかけた。



幼児教育の支援・指導について
市民病院の医療について
水道行政について
イノシシ被害対策について



山田 能新議員

問 人間の人格形成の基本は3歳までにほぼ決定されると言われ、乳幼児期の環境が人間形成に大きく影響

するが、行政としてどのような支援、指導を行っているのか。
【保健センター事務長】乳幼児の保健指導については、育児に対する不安や悩み、発達相談、栄養相談、歯科相談などを個別に対応し、子育てに対する不安の解消や、精神的な健康を維持するため支援や、こどもに対する虐待防止のための環境づくりを努めている。さらに、乳幼児健診時に絵本の読み聞かせ事業等も行っている。

問 一時、市民病院での人工透析が中止になるとの話が出たが、その経緯、及び今後の対応はどうか。
【市長】平成8年4月の市民病院開設以来11年間にわたり人工透析の診療を続けて来たが専門医師不足のために人工透析の継続が危ぶまれたが、その後、佐世保市内

の民間病院の専門医師が非常勤として診療にきていただけようになり、人工透析の継続が可能となった。今後とも専門医師の安定的な確保に努める。

問 平戸市赤松地区が水道の未給水地区となっているが今後の計画はどうか。
【市長】指摘の通り赤松地区では現在、23世帯66名が生計を営んでいるが、飲料水は各自の井戸水の他、山野の湧水を利用しており衛

生的にも改善すべき地域であり、今後は水道施設整備計画を立案し、平成23年頃を目途に給水ができるよう努力をする。
問 イノシシの捕獲数は平成18年度は1千頭を超えたが、その被害は2倍にも増えた。そこで平成19年度の対策はどのようになっているのか。
【市長】イノシシ被害が大変深刻になっており、その被害対策費として3千4百万計上し農作物の被害減少に最大限努力する。

問 面する課題に対応できる体制整備に努めてまいりたい。
問 本市の基幹産業である和牛農家の支援、特に増頭導入に対して資金がかかる。この支援策は。
【市長】27年度を目標に4千2百頭への増頭計画を示しており、19年度も国県補助事業等の活用を図りながら畜産振興策の推進をしていく。今回考えているのは家畜導入事業供給95頭の予算を計上している。

問 イチゴ、アスパラ等導入が盛んに行われているが、ある程度安定した施設園芸の支援をしなければならぬと思うが。
【市長】国県の事業を活用し、市の補助として補助金に対して40%、なお、今現在施設園芸に関して県と協議しているものがある。

平成19年度予算枠配分方式の成果について
組織機構について今後の計画は
和牛農家及び施設園芸農家の支援策は
下亀釜田線及び北部海岸線の計画は



吉福 弘実議員

問 枠配分方式が注目を浴びている大きな要因は、地方自治体の厳しい財政状況である。事務事業の優先順位、

自主的に事業の廃止、新規立案が柔軟に行うことができる。その経緯について
【市長】導入にあたり三つの効果が、一つ財源不足解消、二つ自主性と自立性が確保された。三つ不要な事業を廃止した分、各課の判断で新規事業に予算を回すことが可能となった。

問 組織機構について緩やかな合併、周辺地域が寂れないようにしなければならぬ。そういうことを踏まえ4支所方式を採用した。しかし、合併協議確認事項を前倒しして、変更、廃止さらには10月には本庁方式に移行されるという前提に立ちヒヤリングまで実施されているがどのようになっているのか。
【市長】社会情勢に適合した財政運営と自立した自治体を構築すべく抜本的な組織機構の見直しを図り直

問 面する課題に対応できる体制整備に努めてまいりたい。
問 本市の基幹産業である和牛農家の支援、特に増頭導入に対して資金がかかる。この支援策は。
【市長】27年度を目標に4千2百頭への増頭計画を示しており、19年度も国県補助事業等の活用を図りながら畜産振興策の推進をしていく。今回考えているのは家畜導入事業供給95頭の予算を計上している。

問 イチゴ、アスパラ等導入が盛んに行われているが、ある程度安定した施設園芸の支援をしなければならぬと思うが。
【市長】国県の事業を活用し、市の補助として補助金に対して40%、なお、今現在施設園芸に関して県と協議しているものがある。
問 下亀釜田線、北部海岸線の今後の計画は。
【市長】下亀釜田線は21年完成予定、北部海岸線は22年完成予定である。

議員報酬

5%カット!

財政危機に
対応するため

提案理由

本市の経済情勢及び市の財政状況は大変厳しいものがあり、今定例会においても、平戸市行政改革実施計画等が示され、先の定例会で議員定数削減の条例を可決したが、議員報酬についても一定の削減は避けられない状況にあると判断し、行財政改革の一助として提案した。

月額報酬

(単位：円)

	改正前	改正後
議長	415,000	394,000
副議長	347,000	330,000
議員	326,000	310,000

※5%カット額の1,000円未満の端数は、四捨五入。
期間 平成19年4月1日～平成21年11月5日

暴力行為根絶!

去る4月17日の伊藤長崎市長銃撃事件を受け、平戸市議会として暴力行為根絶に関する声明を行った。

暴力行為根絶に関する声明

伊藤長崎市長が、民主主義と地方自治の根幹をなす市長選挙の期間中である4月17日にJR長崎駅前にある本人の選挙事務所前で銃撃され、翌18日未明に出血多量により死亡するという凶暴な事件が発生したことは、極めて遺憾であり、心底から怒りを禁じ得ない。

ここに許しがたい行為に対し強く抗議するとともに、亡くなられた伊藤一長長崎市長に対し心から哀悼の意を表するものである。

我々平戸市議会は、これまで一切の暴力行為に対し、社会正義の名において厳しく糾弾し続けてきたところである。

しかるに、このような暴力で目的を達成するという卑劣な行為は、市民を不安に陥れ、社会の平和と市民の安全を脅かすもので、今回の事件は、民主主義に対する重大な挑戦であり、その暴挙は断じて許すことはできない。

よって平戸市議会は、このような事件が二度とおこらないよう、今回の事件の徹底した真相究明を強く要望するとともに、市民の一層の理解と協力のもとに暴力を社会から追放し、安心して住みよい社会の実現を目指すことを誓うものである。

平成19年4月24日

平戸市議会